

8. 里山と医療・福祉

代表：横田 耕明

谷津田における福祉の有り方と新たな相互理解や交流の試み

野外体験：

日時：5月15日（日）（雨天の場合は5月29日（日））

場所：千葉市緑区土気大藪池谷津田

子どもと何らかの障害のある方々を中心に工作作業を行う。
参加者が個々の特徴を認め合い、助け合いながら楽しく活動することにより、地域福祉の在り方を模索する。

竹を使ったドームづくりと間伐材を使った机づくり

建築家・グループ2000代表の横田耕明

野草をとり、てんぷらをする＋昼食

参加者は谷津田を散策して野草を採り、随時てんぷらにして食べる

チャリカフェで飲み物を振る舞う

（チャリカフェという移動式カフェ）

竹を使った楽器づくりとそれを使った演奏

ウッディ工房 小林 正幸

里山の仲間たち 林



8 まとめ ワークショップ・五月の谷津田における福祉活動

現状

- ・大藪池周辺は医療福祉施設が多い旧農村地域。
- ・現在の美しい環境はNPO や地元住民の活動で維持されている。

結論

- ・小雨に100人前後が集合、自然・福祉への関心の高さを確認。
- ・五月の谷津田を存分に体験。予想を超える活発な交流と創造が実現した。

課題

- ・谷津田をフィールドにした地域福祉の基盤作り。
- ・活動が根付くには地道な呼び掛けと定期的な実施が大切。
- ・今年は夏と秋に行事を予定。

